

教科	理科	学年	1年	標準授業時数	105時間(週3時間)
----	----	----	----	--------	-------------

目 標	教科目標	自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う題材について、興味関心を持って取り組める。 ・観察・実験の用具の正しい使い方や、記録・分析が出来る。 ・観察・実験の結果から、法則性を見つけ、原理を理解し、それを使って色々なことに応用することが出来る。 ・学んだ内容についての語句・考え方を覚える。

評 価	観 点	自然事象への 関心・意欲・態度	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味や関心を持って、積極的に学習活動を行うことができる。 ・提出物を、きちんと完成し、期限を守って出すことができる。
		科学的な思考	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験結果を考察し、自分なりの考えを持ち、表現できる。 ・学習した身近な事象の規則性・法則性を理解し、発展的な事柄について科学的な見方で考えることができる。
		観察・実験の 技能・表現	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を正しく行い、自分の考えをまとめていくために、記録や分析が正しくできる。 ・ノートや提出物をきれいにまとめたり、発表ができる。
		自然事象について の知識・理解	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容の基本的概念・原理・法則性が理解できている。 ・学習した内容の基本的な語句・知識を身につけている。 ・基本的な計算や作業ができている。
材 料	各種提出物の内容・ノート内容・定期テスト・小テスト・授業態度			
方 法	各評価材料を観点別に基準に沿って評価する。 それぞれの結果を総合的に判断する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書1上と2上(啓林館)・学習ノート(広学)		
	学習形態	教室では主に一斉(普通の)授業の形で進める。 実験・観察では、理科室で班ごとに席に着き、各課題に取り組む。 必要に応じて教室外(野外観察など)に出ることもある。		
	進 め 方	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・実験観察を通して、身近な事物・現象に興味を持って見る。 ・教科書・モデル・図・プリントなどを使って、学習内容を理解し、説明したり使ったりできるようにする。 ・友達や先生の意見を聞き、自分の考えを深め、自分の考えを分かりやすく発表するようにする。 ・黒板に書かれたことや、出た意見、分かったことを復習できるようにノートにまとめる。 ・練習問題などによって学習の定着度(どのくらいわかっているか)を確認し、不十分な内容は先生や友達に聞いて確認する。 	
		家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習した内容をその日のうちに復習する。観察・実験レポートもその日のうちにまとめ、気づき考察を自分の言葉で書くようにする。 ・基本的な語句などは、繰り返し書いたりして確実に覚える。 ・各提出物を計画を立て期限に遅れないように仕上げる。 ・自分が分かった部分と分からなかった部分が区別できるように、学習ノートをする。 ・安易に答えを見ないで、自分の力で解けるように粘り強く考える。 ・日常生活の中に、学習した内容が活かされていないかを意識して見つけようとする。 	

学習内容

月	単元名・主な項目	時数	学習のポイント
4	自然の扉を開いてみよう 2-1 植物のくらしとなかま 植物とはどんな生物だろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・おしべ・めしべ・花びら・がく ・葉(日光が良く当たるようにつく) ・根や茎には水や養分が通る管がある ・被子植物と裸子植物のちがい
5	1章 なかまをふやすしくみ 2章 栄養分をつくるしくみ 3章 水や栄養分を運ぶしくみ	7 7	
6	4章 植物のなかま分け 力だめし	4 2	
7	1-1身近で起こる不思議な現象(光・音・力) 体験してみよう! 光による不思議な現象 1章 光による不思議な現象	7	
	2章 音による不思議な現象	4	<ul style="list-style-type: none"> ・光は直進する ・凸レンズでの像のできかた ・音は真空では伝わらない ・音の大きさは振動の幅で高さは振動の数で決まる ・力がはたらくと形や速さが変化する ・力は矢印(→)で表す ・つりあいの条件(3つ) ・圧力(面積と力の大きさが関係)
9	3章 力による不思議な現象	1 1	
10	力だめし	2	
11	1-2 身のまわりの物質 どのようにすれば物質を区別できるかな 1章 いろいろな物質とその性質	9	<ul style="list-style-type: none"> ・物質(材料)と物質 ・金属の共通の性質 ・色々な金属の特徴 ・実験で白い粉末を区別する ・気体の性質を知る ・温度を上げると固体→液体→気体 ・融点(溶ける温度) ・沸点(沸騰する温度) ・水にとけるとは透明になること ・実験で物質が取り出せるか ・酸性とアルカリ性の共通の性質 ・中和の実験
12	2章 いろいろな気体とその性質 3章 物質の状態の変化	7 7	
1	4章 水溶液の性質 力だめし	8 2	
2	2-2 活きている地球 ハワイが語る地球の不思議 1章 大地が火をふく	4	
	2章 大地は語る	6	<ul style="list-style-type: none"> ・火山の種類と溶岩の関係 ・火山岩と深成岩の区別 ・水がけずって地層ができる ・たい積岩の観察と分類 ・化石で環境と年代が分かる ・地震は2つの波であること ・マグニチュードと震度
3	3章 大地がゆれる 4章 大地が変動する 力だめし	5 5 2	
総授業数		105	